

平成29年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

釜利谷地域ケアプラザ

2 事業計画

1 全事業共通

地域の現状と課題について

釜利谷地区の人口は、28年3月現在31,620人で23年からの5年間で減少しており、世帯数は増加し、世帯規模は縮小する傾向が続いている。高齢化率は28.9%で、市区の平均を上回っている。高齢化率は5年間で5.1%上昇している。

高齢世帯の多い地域と子育て世帯の多い地域があり、地域によって生活課題の違いがある。また、地縁関係で成り立っている旧住民層の地域と開発による新住民層の地域があり地域の特性が多岐に分かれている状況は続いている。

釜利谷地域の高齢世帯の多い地域は特に、坂道が多い地形であることが多く、外出しづらく、通院、買い物、駅への移動が困難で社会活動が制限されやすい課題があります。また、地域の方は、認知症高齢者の増加を実感されている。

地域の方や地域活動団体より認知症予防に関する講座依頼が増加しており、認知症に対する関心が高まっている。認知症サポーター養成講座や地域の支援者を対象とした講座を開催し継続的に支援をしていく。また、地域の中に気軽に通える居場所づくりの相談を地域から受けることがあり、地域の自発的な活動を邪魔せず、地域が主体となりながら活動が進められるように地域の方と共に検討し情報提供や関係機関へつないでいる。地域づくりを通じて介護予防の取り組みを進めていく必要がある。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

高齢者、障害、子どもなど地域住民の幅広い相談に対応できるよう各種制度の仕組みを把握し、情報提供ができる体制を整える。ワンストップサービスを目標に、開館時間に福祉に関する相談が来た際に的確な情報提供ができるような体制を整える。自主事業や出張講座では様々な情報を発信し、また地域の情報収集を行い、事業に反映させる。関係機関と連携することで質の高い相談業務に努め、事業に反映することで地域課題の解決ができるように努める。

(2) 各事業の連携

それぞれの専門性や特性を活かしお互いの職種や各部門の役割を理解し個別支援から地域支援まで幅広く対応できるよう定期的に意見交換、情報交換を行い地域目線に立った支援を行う。

地域包括支援センター3職種と生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターが把握した課題やニーズを共有し、有機的な連携を持って解決に努める。それぞれの専門性や特性を活かし地域目線に立った支援を行うことで、総合的な地域支援を行っていく。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

地域ケアプラザ管理運営に関する協定書を踏まえ必要職員を適正に配置する。法人による階層別研修は全職員参加とし、29年度はリスクマネジメントについて学びを深める。また、自己育成シートは様式を変更し29年度も非常勤含む全職員が作成し職員一人ひとりが明確な目標をもち、上席者と共有し人材育成に取り組む。各部署別、ケアプラザ全体の年間研修計画に基づき常勤、非常勤は研修に参加し専門性の向上を目指す。研修参加後は、報告書を作成し内部会議にて報告し全職員で共有する。

ケアプラザ研修委員会主催の研修は、ケアプラザ全体で取り組むべき課題についての研修を企画し実施する。

利用者、家族が事業所を自己選択、自己決定できるように区役所からの表を掲示しながら情報を提供する。複数のサービス事業所の特徴やサービス内容などパンフレット等を使用しながら説明を行い、選んでいただくようにし地域のかたの活動拠点として公平性、透明性のある運営を意識し適正な情報提供とサービス提供により公平性中立性を確保する。

個人情報保護の取組として、個人情報漏えい防止チェックシートを非常勤も含め全職員が記入し所長へ提出し一人ひとりの意識づけ、再確認を行う。会議、毎朝の申し送り時に繰り返し注意喚起し、漏えい防止、取り扱っている緊張感等意識啓発を行い、基本のルールを徹底する。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

職員一人一人が築いたネットワークをケアプラザ内において共有し、地域住民が、福祉・保健サービスや相談、より専門的な支援等を身近な場所で総合的に受けられるよう地域の関係機関とともに取り組んでいく。また、地域住民を巻き込んだ支えあいや見守りのネットワークの構築も目指す。ネットワークの構築にあたっては、行政や関係機関のみが主体となるのではなく、地域住民もその一つであることを留意し、地域福祉の一体的推進と地域の福祉力の向上も図りながらネットワークの構築を行う。

(5) 区行政との協働

区の運営方針や課題、取組目標として掲げている事柄をよく理解し、それに基づきケアプラザで把握した地域課題や地域情報を共有しながら協働で地域支援・地域づくりに取り組む。また、地域福祉保健計画については、地域支援チームとして担うべき役割と、地域における福祉・保健の施設としての役割を担い、地域を巻き込みながら第3期計画の実現を目指す。加えて、横浜市中期4か年計画の最終年度として36施策を中心に「人も企業も輝く横浜」に向けてケアプラザとしての役割を果たしていく。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

ニーズの発見や解決に向けての自主事業を展開するとともに、多くの方が出会い知り合える環境作りを行い、地域住民同士の気づきや助けあいの地域づくりにつなげていく。高齢、子育て、障がい分野の開催と共に、ボランティアも含め、誰もが参加できる事業も多く展開し、多世代交流の場の提供とともに新たな出会いから新たな活動に繋がるようなコーディネートの機会ともしていく。また、ケアプラザ他部門や地域、関係機関との協働・共催事業を通じて、地域福祉保健計画や中期4か年計画の実現を目指していく。

(主な支援対象事業)

高齢者、こども・養育者、障がい児者、外国人、世代間・地域交流、講座・講演会、福祉体験、職業体験、地域団体・関係機関・活動団体との共催事業

目標件数 延べ300件

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

福祉保健活動団体が安定した活動を行えるような場の確保や調整を行うとともに、支援が必要な団体については、支援を受けながら安心して活動ができる場の提供に努める。必要に応じて資料や情報の提供を行なうとともに、高齢者、幼児、障がい者が安全に館内を利用できるよう整備にも努める。また、活動に参加させていただくなどし、同じ目線に立ってより活動しやすい場の提供を行っていく。

利用率については、前年度を上回る実績を目指す。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

ボランティア未経験の方を活動につなげるため、啓発活動に努めるとともに、幅広い選択肢の中からお自身に合った活動に参加できるような環境づくりを行う。また、ボランティア活動を“ボランティア”と意識せず、行動が結果的に社会貢献につながるようなコーディネートを目指し、将来、地域での担い手としてつなげていく。また、大学生向けの講座の開催を行うとともに、障がいのある方もボランティア活動に参加できる環境づくりを行っていく。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

関係機関との会合や共催事業を通じて、相互での情報収集及び情報提供を行なうとともに、地域により近い福祉・保健の施設であるという特性を活かした情報把握を行い、必要な人に必要な情報が届くよう努める。また、地域包括支援センター、生活支援コーディネーターとの共催による出張講座やサロンにおいては、地域の現況や社会資源の把握とともに、地域に応じた情報提供に努める。

広報紙・チラシの発行、ホームページや区の広報を活用するなどし、多くの方に情報が届くよう努める。また引き続き、横浜市のポータルサイトで公表されているデータ等を基に、地域に合わせた資料を独自で作成し、地域の方に役立てていただくとともに、地域特性を感覚ではなく数値で捉えることを提唱していく。

また今年度は、養護学校等の授業参加や児童デイサービスの見学を行い、生きた情報提供に努める。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

協議体を通し5職種が連携し、それぞれの役割を分担しながら情報共有をし、釜利谷の具体的なニーズに対応出来る体制のもと生活支援体制整備事業の取り組みを行う。

区役所・区社協・他の地域ケアプラザ等と生活支援体制整備事業推進のノウハウ等を共有できる機会を逃さず、積極的に参加し、必要に応じて釜利谷地域の取り組みの情報発信を行う。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

総合相談票より生活支援に関係するデータから、どの地域にどのような生活支援ニーズがあるか傾向を把握し、必要な生活支援・介護予防・社会参加にかかわる活動の創出の裏付けとなるよう分析を行う。

昨年度に引き続き、地域のサロン等に足を運び支援者等地域のキーパーソンとの会話の中から地域のニーズを探る。また、参加者との会話を通し、生の声のニーズを収集する。

生活支援体制整備事業の手引き P50 の「地域アセスメントシート」を用いて、釜利谷内の自治会町内会の特性や実情を把握することに努める。

昨年度地域包括支援センターと一緒に取り組んだ「釜利谷みんなの情報シート」の更新を行い、最新のデータを把握し必要とされる機関に提供出来るよう努める。

(3) 連携・協議の場

連合町内会や地区社協の役員会で生活支援体制整備事業の説明を行い、今後「住み慣れた釜利谷で暮らし続けるために多様な主体が連携・協力する地域づくりが必要である」ことを、自治会、町内会の役員の方々に理解頂き、目指す地域像を共有し、地域での活動がスムーズにいくよう生活支援コーディネーターの役割の周知に努める。

新しい取組の協議が始まった際は、必要な情報提供、コーディネート等を行い、協議がスムーズに進むよう後方支援に努める。

地域の様々な取組が今後も継続・発展に向けた取り組みが出来るよう支援に努める。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

担当圏域を超えた共通の課題の解決に向けて、区役所や区社協、他の地域ケアプラザと情報を共有し釜利谷の地域課題と関連付けて認識するよう努める。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

地域の多様な活動をまとめた「釜利谷みんなの情報シート」を更新作成し、関係者間での情報共有と活用ができるようにする。地域包括支援センターの機能や目的を知ってもらう事や顔の見える関係を築くために医療機関、居宅事業所等の関係機関へ定期的に訪問する。地域福祉従事者とのネットワーク構築のため、出張講座や介護予防教室、地域のサロン等に出向く。

②実態把握

総合相談件数、介護保険申請数（予防を除く）をエリア別に集計・データ化し、地域特性の把握を行うとともに、次年度の事業計画に役立てる。各講座でのアンケート結果で参加者が望んでいる講座の分析と、地域福祉従事者と連携をはかり、地域の声を事業に反映する。また、積極的に地域に出向き、インフォーマルサービスの把握や個別ニーズの把握を行う。民生委員等の地域福祉従事者と定期的に連絡を取り合い、地域の現状の把握や潜在的なニーズの発見に努める。

③総合相談支援

高齢者に関するさまざまな相談を受けとめられるよう、最新の地域情報の把握を行い、相談に応じた幅広い情報を提供するとともにワンストップで必要なサービスにつなげるよう努める。また、必要に応じて関係機関や事業につなぐ。区からの相談票で気になった方や継続的に関わりが必要な方に対してはフォローを行う。潜在的なニーズの発見のため、出張講座や講演会の際、気になる方への声掛けや個別相談を行い、潜在的ニーズの発見や早期の関係づくり、家族支援のきっかけにつながるよう努める。

（２）権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

成年後見制度の取組

相談の掘り起しのため、講座と個別相談会を開催し普及啓発に努める。成年後見制度の利用が必要な方に対し説明を行い、申し立てまで途切れなく支援を行う。第三者に後見人を依頼したいケースについては、区役所、成年後見ネットワークの先生方と連携し、適切な成年後見人が選任できるよう紹介を行い、スムーズに申し立てが進められるよう医療機関との情報共有・連携に努める。また、後見人が選任されたあとも継続的に情報共有を行い、会議開催や同行訪問等で支援を継続する。

消費者被害防止の取組

近隣の郵便局や銀行とは随時情報交換を行い、警察や消防の方と顔の見える関係づくりを行う。各事業でのミニ講座、町内会出張講座で最新の情報提供と個別相談対応を行う。高齢者だけでなく、幅広い世代に周知を行うため広報誌での呼びかけし、地域で支え合い被害防止に繋がるよう努めていく。

②高齢者虐待への対応

高齢者虐待防止、早期発見に関する取り組みとして、介護支援専門員・民生委員向けに講演会（勉強会）を年一回開催、介護者のつどいや認知症サポーター養成講座等の事業で、高齢者虐待の正しい理解について、地域包括支援センターが高齢者虐待相談窓口となっていることを周知していく。インフォーマル団体との連絡会等や事業所訪問時に対象者の把握に努める。

虐待事例が発生した際は、区と情報共有・支援の方向性を検討し、サービス事業所、地域福祉従事者と連携して取り組む。相談件数として、介護支援専門員や地域福祉従事者からの虐待相談が主なため、普段から居宅介護支援事業所や地域福祉従事者等と顔のみえる関係づくりを行う。

③認知症

認知症に対する正しい理解の促進のため、町内会やエリア内の小中学校等で認知症サポーター養成講座や講演会などで普及啓発を行う。包括エリア内のキャラバンメイト連絡会を実施し、ネットワークの構築に努める。

相談しやすい関係づくりのため、事業所、医療機関、地域福祉従事者と日頃から訪問等で顔の見える関係づくりをすすめ、認知症初期集中支援チームとの連携に取り組み、早期介入に努める。

介護者のつどいでは、認知症の方も参加できるような会を開催し、介護者支援を行う。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

地域の要望に応じて、介護保険制度、地域包括ケアシステムの説明、介護予防、成年後見制度等の説明を実施する。民生委員とケアマネジャーの連携構築の為に情報交換会を年2回開催しより連携と顔の見える関係作りに努める。積極的にエリア内の地域密着型の運営推進会議に出席し、個別の相談や地域のインフォーマルサービス、地域資源の情報提供を行い随時連携が取れるようにする。

②医療・介護の連携推進支援

金沢区包括主任ケアマネジャー部会と金沢区医師会と金沢区在宅医療相談室と連携した情報交換会、薬剤師会との情報交換会、病院の医療ソーシャルワーカーとの情報交換会を開催する。釜利谷地域の医療・介護の連携を図るために、西金沢ケアプラザと協働で、エリア内外の医師、医療ソーシャルワーカー等との情報交換会を行い「釜利谷地域連携シート」が有効活用できるよう支援を行う。金沢区内包括と金沢区医療連携と医療ソーシャルワーカーとの情報交換会を行う。包括主任ケアマネジャーと協力し、医療従事関係者との定期的な研修等を開催する。金沢区在宅医療相談室との連携し医療・介護の連携を図る。

③ケアマネジャー支援

ケアマネジャーからの個別相談への支援について、多問題、支援困難ケースへの対応は、随時同行訪問や区役所や各相談機関と連携し、サービス担当者会議やカンファレンスの開催支援。個別ケース地域ケア会議等の開催に向けての情報提供と支援を行う。包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備のために、関係機関との連携、ケアマネジャー同士のネットワーク機能。ケアマネジャーの質の向上のために必要な研修や事例検討会を金沢区主任ケアマネジャー部会と協働で実施に努める。新任ケアマネジャーの為に研修企画し実施する。エリア内の主任ケアマネネットワークで必要とする研修を行う。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

新たな課題に対する発見、連携が取れるように、必要に応じて様々職種の方々に参加頂き個別ケース地域ケア会議年4回開催する。開催後は継続的に状況の確認を行う。多職種の専門的視点を交え検討し個別支援の充実、参加者の質の向上と関係機関の連携促進を図る。包括レベル地域ケア会議を年1回開催し、地域課題の課題解決のために応じた取組を行う。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

要支援者、事業対象者に対しては、インフォーマルサービス等を含め、その人にあった効果的な支援計画を作成し、それ以上悪化させない現状維持や、状態の改善をめざすようなプランを作成する。

委託ケースについては、更新認定や新規認定時の担当者会議に出席し、ケアプランについてのアドバイス等をする。各居宅の新任ケアマネに対しては、個別に予防プラン作成等についてマニュアルを配布し指導する。

民生委員、保健活動推進員、町内会役員等と連携し介護予防の普及啓発を行う。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

地域の高齢者が、住み慣れた地域で継続して生活できるよう、本人ができる事は出来る限り行うことを基本に、主体的な活動と地域活動への参加意欲をたかめられるよう支援していく。

高齢者に対し、個々に必要なプログラム（介護予防教室、ほっとタイム等）、元気づくりステーション、地域のサロン等や各種の教室、区役所での講演会・教室、ケアプラザの事業につなげていく。繋がらなかった方に対しては、定期的に訪問し状況によっては区役所と連携しながら支援する。

新たな介護予防グループ（元気づくりステーション等）立ち上げの支援を行う。

既存のサロン等に対しては、定期的に参加し介護予防の普及啓発をしていく。

その他

地域の小学校、保育園等との交流や中学校の職業体験、個別支援級の学生も積極的に受け入れ、地域ケアプラザならではの体験を提供する。各大学の実習生受け入れ、福祉に意識を持ってもらい地域に対して関心を持ってもらう。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

日常的な維持管理は職員が行い、専門的な保守管理は専門業者に委託して、計画的、定期的に行う。

施設・設備の維持保全については、故障不具合の状況を区・建築局に報告、協議を重ね大規模修繕にならないよう実施する。

専門業者による建物設備管理、建物清掃、環境衛生管理を計画的に実施する。

併設施設航と共同の衛生委員会により定期的に施設敷地内の清掃を実施し施設の美化に対する意識を高める。

イ 効率的な運営への取組について

法人で運営する地域ケアプラザと連携しサービスの質の向上を図る。

職員一人一人がコストを意識し経費削減に努め、節電、節水等に職員全員で取組み光熱費の削減に取り組む。ケアプラザ会議にて電気使用量の前年比較表を職員で確認し、意識を高める。

複合施設の利点を活かし事務の一括処理、印刷機、電話回線、厨房機材等を共同使用することで効率的な運営を行う。

ウ 苦情受付体制について

施設内に案内を掲示し、ご意見箱を設置し、地域の方、利用者、ご家族が気軽に要望や不満、意見を言いやすい環境づくりに取り組む。

運営法人の苦情解決に関する規則、実施要綱に則り、苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員を設置している。

苦情を受け付けた際は、迅速に対応し現場職員、苦情受付担当者、苦情解決責任者と一体となって誠実な対応をし、今後の解決策、改善策を提示する。苦情の発生から解決までを記録に残し職員全員が共有することで再発防止に努める。

年1回、事業毎に利用者アンケートを行い、意見や要望を伺う。内容について部門毎の会議で検討し、より良い地域ケアプラザ運営に活かしていく。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

ケアプラザ全職員対象に避難訓練、初期消火訓練を併設施設と合同で行う。また、地域の防災訓練にも参加し、連携して防災に努める。

連絡体制、役割分担、関係機関の一覧表を掲示しすぐに行動できるようにしている。

災害・緊急時の職員の確保については、職員全員の参集最短時間把握を行っており、職員の参集状況を事前に想定している。

裏に山がある施設である為、土砂災害に対しても適切な避難行動がとれるよう土砂災害対応マニュアルを作成する。また、特別避難場所として速やかに開設できるよう特別避難場所開設・運営マニュアルに基づき行動できるよう会議で定期的に確認する。災害時備蓄品の整備管理を適切に行う。また不審者への対応は、全職員で当たり、窓口では受付担当がチェックし、緊急時は、警備会社へ通報が行く体制を取っている。夜間は機械警備としている。

貸館利用者には、定期的に避難経路説明を実施しいざというときに備えていただく。

オ 事故防止への取組について

AEDを館内に設置し緊急時に対応し、地域の方にも周知する。
事故防止マニュアルを定期的に見直し、職員に周知徹底する。
事故防止委員会の委員は多職種で構成されており、定例会においてヒヤリハット事例を検討し、事故防止に努める。定期的な会議だけではなく日々の業務の中での職員一人ひとりの気づきも重要と考え日常の業務の中で小さなこともヒヤリとしたことは見過ごさず報告し、ヒヤリハット報告の共有と職員のリスクマネジメントに対する意識を高める。
施設内の設備についても、危険な箇所、予測される危険箇所は、改修、修繕をし事故防止する。整理整頓を職員全員で取り組む。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

法人の個人情報保護方針に基づき、マニュアル等で個人情報の取扱いについて注意事項を定め、職員全員が遵守することによって引き続き利用者、関係者の個人情報の保護に万全をつくす。
個人情報保護に関する通知文や事故報告は必ず職員に配布、回覧し周知する。
使用の目的と範囲を明確にした上で、個人情報の持ち出しについては管理職の許可を得て行い、個人情報は、施錠にて保管する。
年1回個人情報漏えい防止チェックリストを全員に配布し、日頃の業務を振り返る機会とする。
個人情報保護統括責任者（事務局長）、個人情報保護責任者（所長）、個人情報管理者を置き、統括責任者の指示のもと個人情報の適正管理にあたる。
日々の取扱いは、マニュアルを作成し、確認表に必ず2名で確認押印し、誤送付などの事故を防止する。訪問等の個人情報持ち出しは、ファイルに持ち出す内容を記載し管理している。

キ 情報公開への取組について

事業報告、事業計画は、地域の皆様にも閲覧できるように窓口にファイルで設置しており、ホームページにも掲載している。
介護サービス情報公表制度に基づく「基本情報」「調査情報」の公表をし、ホームページは、更新し事業情報など周知する。
地域の皆さまに利用頂く施設として積極的に運営の情報を公開していく。
ケアプラザの広報誌「やまなみ」を3か月に1回、チラシを年7回発行し、町内会、郵便局、スーパー等に掲示、配布し事業のお知らせだけでなく、近隣施設の事業案内も掲載する。
法人の個人情報の保護に関する規程に基づき、本人から保有個人データの開示の申出があった際は、開示する。

ク 人権啓発への取組について

全ての職員が人権問題を正しく理解し、自分の問題として捉えるよう人権研修を年 1 回、外部講師を招いて実施し法人の全職員必須の研修とし全員参加できるように 2 日間開催し研修後にはアンケートを実施し、職員がどのように人権を捉え業務に活かそうとしているかを確認し、研修内容の充実や研修効果を高めるように努める。

ケ 環境等への配慮及び取組について

横浜市ゴミゼロルート回収参加施設として、ごみゼロ推進運動に取り組み、再利用、分別管理の徹底を図る。

省エネルギー対策として、空調の温度設定、照明の間引きを引き続き徹底するとともに、1 階の女子トイレにはシャワーロボ（流水音、自動流水）を設置し節水に取り組む。

法人全体で電力使用量を毎月作成し、職員会議で職員で確認し、全員で節電に取り組む。

プリンターのインクカートリッジは、インクカートリッジ里帰りプロジェクトに参加し再資源化に協力する。

施設の草取り等のできる場所は、職員の衛生委員会で実施し、環境美化と景観に努める。植栽については、定期的に業者に依頼する。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（常勤：地域包括支援センター看護師と兼務）
- ・ 看護師 1名（常勤）
- ・ 主任ケアマネジャー 1名（常勤）
- ・ 社会福祉士 1名（常勤）
- ・ ケアマネジャー 2名（非常勤）

《目標》

高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるために、地域の高齢者の心身の健康維持、介護予防・保健・福祉・医療の向上、生活の安定のために必要な援助・支援を包括的に行う。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ご利用者様のご負担はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 委託ケースについては、担当者会議に出席し連携をはかる。
- ・ ご利用者様には、担当ケアマネジャーに苦情等ある場合は直接、包括支援センターに連絡頂けるよう説明する。
- ・ 担当者不在でも緊急時スムーズに対応できるよう包括職員間で定期的にカンファレンスを行い情報共有する。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
162	167	158	159	155	162
10月	11月	12月	1月	2月	3月
159	162	165	172	181	188

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

平成 29 年度は以下の体制で実施する。

- ・ 常勤 週 40 時間 4 名（うち 1 名は管理者兼務）

《目標》

- ・ 住み慣れた地域でできる限り長くその人らしい生活ができるように、フォーマル・インフォーマルサービスを提案し支援する。
- ・ 自立に向けた明確な目標設定、達成度がわかりやすい個別性の高いプラン作成を行い、重度化の予防に努める。
- ・ 情報共有や事例検討のために週一回以上会議や勉強会を行い、また多くの外部研修にも参加することで地域の情報を収集し知識を深めるなどケアマネジャーの資質向上に努める。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 利用者様のご負担はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 処遇困難ケースも積極的に担当し、地域包括支援センターや行政、地域の医療職やその他の多職種と協働してサービスの提供を行い円滑な在宅生活を支援する。
- ・ 特定事業所加算Ⅱを算定し、より質の高い事業所を目指す。内容としては週一回以上の会議や内部の研修、事例検討会などを随時行う。その中で新規ケースや困難ケースについての情報共有や支援の方向性を相談し、事業所全体で利用者を把握できる体制を作る。
- ・ 情報を共有することで担当ケアマネジャー不在の際にも迅速な対応ができ、またケアマネジャーの経験やスキルに左右されない片寄りのないサービス提供を行う。
- ・ 専用の携帯電話を持つことで 24 時間相談できる体制を確保する。
- ・ 外部研修への積極的な参加により、医療や福祉、制度等に対する幅広い知識と多職種とのネットワークづくりを行い、質の高いサービス提供やケアマネジャーの資質向上に努める。
- ・ 金沢区のケアマネジャー連絡会の代表として活動することで、行政やあらゆる職種との連携を図り、金沢区全体のケアマネジャーの活性化に寄与する。

《利用者目標》

※要介護の人数（）内は予防件数

【単位：人】

4	5月	6月	7月	8月	9月
112 (18)	114 (18)	118 (19)	122 (20)	128 (20)	132 (20)
10月	11月	12月	1月	2月	3月
135 (20)	138 (21)	141 (21)	144 (21)	144 (21)	144 (21)

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 1) 基本サービス
 - ①送迎サービス
 - ②健康状況の確認
 - ③介護サービス（排泄介助・食事介助等）
 - ④レクリエーション・体操
 - ⑤生活相談
 - ⑥介護相談又は介護方法の指導等
- 2) 加算サービス
 - ①入浴介助加算
 - ②個別機能訓練加算（Ⅱ）
 - ③サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ
 - ④介護職員処遇改善加算（Ⅰ）
- 3) その他（個別提供）
 - ①趣味活動・曜日毎の教室やクラブ活動
 - 月曜日・・・書道教室、絵手紙教室、体操教室
 - 火曜日・・・手作りおやつサークル、麻雀サークル
 - 水曜日・・・カラオケサークル
 - 木曜日・・・絵手紙教室、折紙教室、珈琲サークル
 - 金曜日・・・体操教室、音楽教室
 - 土曜日・・・カラオケサークル
 - 日曜日・・・麻雀サークル
 - 毎日・・・館内散歩、囲碁、将棋、大正琴、ピアノ、塗絵、貼絵クラフト制作 等
 - ②行事
 - 花見、運動会、敬老会、秋祭り、クリスマス会、利用者忘年会
 - ③イベント食
 - お楽しみランチ（2回/月）、流しそうめん、昼食バイキング、ケーキバイキング、駅弁、母の日・父の日お祝い膳、お鍋、握りずしパーティー、年越しそば 等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1) 自己負担割合 1 割の場合
 - (要介護 1)・・・692円
 - (要介護 2)・・・817円
 - (要介護 3)・・・947円
 - (要介護 4)・・・1,077円
 - (要介護 5)・・・1,206円
- 2) 食費負担・・・700円
- 3) 加算
 - ①入浴介助加算・・・54円
 - ②個別機能訓練加算（Ⅱ）・・・60円
 - ③サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ・・・20円
 - ④介護職員処遇改善加算あり
 - ⑤送迎をしなかった場合（片道）・・・-50円
- 4) 自己負担割合 2 割の場合
 - (要介護 1)・・・1,383円
 - (要介護 2)・・・1,634円
 - (要介護 3)・・・1,893円

- (要介護4)・・・2, 153円
- (要介護5)・・・2, 412円
- 5) 食費負担・・・700円
- 6) 加算
 - ①入浴介助加算・・・108円
 - ②個別機能訓練加算 (Ⅱ)・・・120円
 - ③サービス提供体制強化加算 (Ⅰ) イ・・・39円
 - ④介護職員処遇改善加算あり
 - ⑤送迎をしなかった場合 (片道)・・・-101円
- 7) 介護用品使用時に実費
 - ①リハビリパンツ 1枚・・・150円
 - ②紙オムツ 1枚・・・200円
 - ③尿とりパット 1枚・・・30円

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:20 ～ 16:30

《職員体制》

- 管理者 1人 (常勤)
- 生活相談員 4人 (常勤、介護職員兼務)
- 看護職員 6人 (常勤1人、非常勤5人)
- 機能訓練指導員 6人 (常勤1人、非常勤5人)
- 介護職員 21人 (常勤4人、非常勤17人)
- 運転手 9人 (非常勤)

《目標》

- 1) 安心・安全を第一に、サービスの向上に努めていく。
 - ①毎月のデイサービス職員会議にてヒヤリハットを全体職員に周知し、大きな事故を未然に防げるように対策していく。
 - ②年に1回リスクマネジメントの研修に参加する。
- 2) ご利用者様が『笑顔』になれるサービスを提供していく。
 - ①趣味活動のサークル活動などを固定の曜日に実施し、利用者が選択しやすいようにする。
 - ②お楽しみランチやイベント食を月に2回以上実施し、満足いく食事を提供する。
- 3) 関係機関と連絡、連携を密接に取り、質の高いサービスを提供する。
 - ①毎月担当ケアマネジャーへ利用状況を書面にて報告する。
 - ②その他、緊急性のある事はもちろん変わった様子など共有すべきものはすぐに関係機関に連絡していく。

《その他 (特徴的な取組、PR等)》

- 1) 地域の施設、小学校や保育園とレクリエーションなどを通し交流会を行う。
- 2) 施設的环境を活かし、山を見ながら屋上までの館内散歩を毎日実施。また、裏山の竹を利用し、流しそうめんを実施することや、ベランダのプランターでの園芸活動を行い、季節を感じて頂く。
- 3) 季節ごとの食事、「鍋パーティー」「バイキング食」「寿司パーティー」「懐石風料理」「年越し蕎麦 (蕎麦打ち体験)」など様々なイベント食の提供を行う。
- 4) 季節毎の行事 (花見、運動会、敬老会、秋祭り、クリスマス会、忘年会) を実施する。
- 5) 毎月、入浴週間を設け、浴室を飾ることで季節を感じていただく。
- 6) ご利用者のニーズに応えられる各曜日にサークル活動・教室を実施する。

≪利用者目標（延べ人数）≫

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
810	830	810	830	830	810
10月	11月	12月	1月	2月	3月
830	810	760	760	760	830

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 1) 基本サービス
 - ①送迎サービス
 - ②健康状況の確認
 - ③介護サービス（排泄介助・食事介助等）
 - ④レクリエーション・体操
 - ⑤生活相談
 - ⑥介護相談又は介護方法の指導等
- 2) 加算サービス
 - ①運動器機能訓練向上加算
 - ②サービス提供体制強化加算（Ⅱ）
 - ③介護職員処遇改善加算（Ⅰ）
- 3) その他（個別提供）
 - ①趣味活動・曜日毎の教室やクラブ活動
 - 月曜日・・・書道教室、絵手紙教室、体操教室
 - 火曜日・・・手作りおやつサークル、麻雀サークル
 - 水曜日・・・カラオケサークル
 - 木曜日・・・絵手紙教室、折紙教室、珈琲サークル
 - 金曜日・・・体操教室、音楽教室
 - 土曜日・・・カラオケサークル
 - 日曜日・・・麻雀サークル
 - 毎日・・・館内散歩、囲碁、将棋、大正琴、ピアノ、塗絵、貼絵クラフト制作 等
 - ②行事
 - 花見、運動会、敬老会、秋祭り、クリスマス会、忘年会
 - ③イベント食
 - お楽しみランチ（2回/月）、流しそうめん、昼食バイキング
 - ケーキバイキング、駅弁、母の日・父の日お祝い膳、お鍋、握りずしパーティー、年越しそば 等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1) 自己負担割合1割の場合
 - （要支援1）・・・1,776円
 - （要支援2）・・・3,621円
- 2) 食費負担・・・700円
- 3) 加算
 - ①サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ
 - （要支援1）・・・78円
 - （要支援2）・・・155円
 - ②運動器機能向上加算・・・242円
 - ③介護職員処遇改善加算あり
- 4) 自己負担割合2割の場合
 - （要支援1）・・・3,531円
 - （要支援2）・・・7,241円
- 5) 食費負担・・・700円
- 6) 加算
 - ①サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ
 - （要支援1）・・・155円
 - （要支援2）・・・309円

②運動器機能向上加算 242円

③介護職員処遇改善加算あり

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:20～16:30

《職員体制》

管理者	1人（常勤）
生活相談員	4人（常勤、介護職員兼務）
看護職員	6人（常勤1人、非常勤5人）
機能訓練指導員	6人（常勤1人、非常勤5人）
介護職員	21人（常勤4人、非常勤17人）
運転手	9人（非常勤）

《目標》

- 1) 利用者の特性を踏まえ、自立した日常生活の維持・向上を目標としサービスを提供していく。
 - ①洗濯物たたみや茶碗洗い拭き、テーブル拭き等を職員、ボランティアと共に実施し自立した在宅生活を続けられる支援をする。
- 2) 安心・安全を第一に、サービスの向上に努めていく
 - ①毎月のデイサービス職員会議にてヒヤリハットを全体職員に周知し事故を未然に防ぐ対策をとる。
 - ②年に1回リスクマネジメントの研修に参加する。
- 3) ご利用者様が『笑顔』になれるサービスを提供していく。
 - ①趣味活動、サークル活動を固定の曜日に実施し、利用者が選択しやすいようにする。
 - ②お楽しみランチやイベント食を月に2回以上実施し、楽しみとなる食事を提供する。
- 4) 関係機関と連絡、連携を密接に取り、質の高いサービスを提供する。
 - ①毎月担当ケアマネジャーへ利用状況を書面にて報告する。
 - ②その他、緊急事項、状態変化等はすぐに関係機関に連絡する。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 1) 地域の施設、小学校や保育園とレクリエーションなどを通し交流会を定期的に行う。
- 2) 施設的环境を活かし、山を見ながら屋上までの館内散歩を毎日実施。また、裏山の竹を利用し、流しそうめんを実施することや、ベランダのプランターで園芸活動を行い、季節を感じていただく。
- 3) 季節ごとの食事や、「鍋パーティー」「バイキング食」「寿司パーティー」「懐石風料理」「年越し蕎麦（蕎麦打ち体験）」など様々なイベント食の提供を行う。
- 4) 季節毎の行事（花見、運動会、敬老会、秋祭り、クリスマス会、忘年会）を実施する。
- 5) 毎月、入浴週間を設け、浴室を飾ることで季節を感じていただく。
- 6) ご利用者のニーズに応えられる各曜日にサークル活動・教室・自立支援活動（洗濯・茶碗洗いなどの炊事・テーブル拭き等）を実施する。

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
16	16	16	16	16	16
10月	11月	12月	1月	2月	3月
16	16	16	16	16	16

平成29年度 「釜谷地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書（一般会計）

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,976,388	0	18,976,388		18,976,388	横浜市より（施設使用料相当額を除く）
利用料金収入	580,000		580,000		580,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	0		0		0	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他（施設使用料相当額）	3,587,500		3,587,500		3,587,500	第3期の指定管理施設のみ
その他（法人負担分）	3,587,500	0	3,587,500	0	3,587,500	第3期の指定管理施設のみ
収入合計	19,556,388	0	19,556,388	0	19,556,388	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,866,000	0	10,866,000	0	10,866,000	
本俸	7,000,000		7,000,000	0	7,000,000	
社会保険料	1,001,000		1,001,000	0	1,001,000	
手当計	2,700,000		2,700,000	0	2,700,000	
健康診断費	10,000		10,000	0	10,000	
勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000	0	6,000	ハマふれんど等
退職給付引当金繰入額	98,000		98,000	0	98,000	
その他	51,000		51,000	0	51,000	
事務費	1,447,000	0	1,447,000	0	1,447,000	
旅費	6,000		6,000	0	6,000	
消耗品費	250,000		250,000	0	250,000	
会議ठी費	15,000		15,000	0	15,000	
印刷製本費	350,000		350,000	0	350,000	
通信費	250,000		250,000	0	250,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	78,000		78,000	0	78,000	
職員等研修費	5,000		5,000	0	5,000	
振込手数料	2,000		2,000	0	2,000	
リース料	15,000		15,000	0	15,000	
手数料	35,000		35,000	0	35,000	
地域協力費	5,000		5,000	0	5,000	
その他	436,000		436,000	0	436,000	
事業費	1,042,000	0	1,042,000	0	1,042,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	指定額
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	1,000,000		1,000,000	0	1,000,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	5,332,108	0	5,332,108	0	5,332,108	
建築物・建築設備点検	35,000		35,000	0	35,000	指定額
光熱水費	3,450,000	0	3,450,000	0	3,450,000	
電気料金	900,000		900,000		900,000	
ガス料金	900,000		900,000		900,000	
水道料金	1,650,000		1,650,000		1,650,000	
清掃費	430,000		430,000	0	430,000	
修繕費	474,000	0	474,000	0	474,000	
機械警備費	45,500		45,500	0	45,500	
設備保全費	897,608	0	897,608	0	897,608	
空調衛生設備保守	300,000		300,000	0	300,000	
消防設備保守	65,000		65,000	0	65,000	
電気設備保守	50,000		50,000	0	50,000	
害虫駆除清掃保守	32,000		32,000	0	32,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	450,608		450,608	0	450,608	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
公租公課	869,280	0	869,280	0	869,280	
事業所税	0		0		0	
消費税	869,280		869,280	0	869,280	
印紙税	0		0		0	
その他（ ）	0		0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費	0		0		0	
支出合計	19,556,388	0	19,556,388	0	19,556,388	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 「釜利谷地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書 (特別会計)

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料 (包括)	28,174,034		28,174,034		28,174,034	横浜市より
指定管理料 (介護予防)	150,000		150,000		150,000	横浜市より
指定管理料 (生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入	0		0		0	介護保険収入等充当分
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	0		0		0	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他 ()	0		0		0	
その他 ()	0		0		0	
収入合計	34,113,034	0	34,113,034	0	34,113,034	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	29,937,314	0	29,937,314	0	29,937,314	
本俸	19,591,314		19,591,314		19,591,314	
社会保険料	4,700,000		4,700,000		4,700,000	
手当計	4,300,000		4,300,000		4,300,000	
健康診断費	60,000		60,000		60,000	
勤労者福祉共済掛金	36,000		36,000		36,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	550,000		550,000		550,000	
その他	700,000		700,000		700,000	
事務費	1,318,000	0	1,318,000	0	1,318,000	
旅費	30,000		30,000		30,000	
消耗品費	213,000		213,000		213,000	
会議ठीい費	10,000		10,000		10,000	
印刷製本費	180,000		180,000		180,000	
通信費	180,000		180,000		180,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	250,000		250,000		250,000	
職員等研修費	60,000		60,000		60,000	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	5,000		5,000		5,000	
手数料	20,000		20,000		20,000	
地域協力費	10,000		10,000		10,000	
その他	350,000		350,000		350,000	
事業費	1,439,000	0	1,439,000	0	1,439,000	
協力医	630,000		630,000	0	630,000	指定額
介護予防事業	150,000		150,000	0	150,000	
生活支援体制整備事業費	309,000		309,000	0	309,000	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	350,000		350,000	0	350,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	1,418,720	0	1,418,720	0	1,418,720	
建築物・建築設備点検	20,000		20,000	0	20,000	指定額
光熱水費	910,000	0	910,000	0	910,000	
電気料金	200,000		200,000		200,000	
ガス料金	230,000		230,000		230,000	
水道料金	480,000		480,000		480,000	
清掃費	142,720		142,720	0	142,720	
修繕費	126,000		126,000	0	126,000	
機械整備費	20,000		20,000	0	20,000	
設備保全費	200,000	0	200,000	0	200,000	
空調衛生設備保守	60,000		60,000	0	60,000	
消防設備保守	20,000		20,000	0	20,000	
電気設備保守	20,000		20,000	0	20,000	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	0	10,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	90,000		90,000	0	90,000	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他 ()	0		0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費	0		0		0	
支出合計	34,113,034	0	34,113,034	0	34,113,034	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 自主事業計画書

-

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい	介護者同士が日頃の介護を通じての介護者の思いの共有や情報交換を行う場の共有とともに、ケアプラザから介護者に対して必要な情報や支援を提供できる場とする。 ・訪問入浴サービス・施設見学会 ・家の中で手軽にできる料理教室 ・おむつの使い方、正しい着脱法等	隔月・年6回
ほっとタイム	気軽に楽しく参加できる交流の場。体操・認知症予防ゲーム・音楽、口腔ケア、終活など月によってさまざまなレクリエーション、会食などの活動を通して楽しく過ごす場。住民が交流を深めることで地域の中で顔見知りの関係ができ、孤立を防止し生きがいづくりや社会参加、介護予防を目的とする。 ・ミニデイサービス ・終活について ・スリーA ・栄養講座 ・昼食を食べながらのお話し会等	隔月・年5回
高舟台出張講座	地域に出向きケアプラザ周知と地域の方との交流を図るとともに、介護予防の啓発と介護保険利用についての説明を出張講座として行う。 ・ケアプラザについて ・包括支援センター ・介護予防について ・介護保険について等	春期・年1回
パーキンソン病交流会「やまゆり会」	情報交換や交流を通して疾病への知識を深めるとともに、当事者や家族が地域で支え合う場とする。 ・パーキンソン病の方の食事 ・交流会 ・音楽療法 ・情報交換会	半期・年2回
Active English	障がい児者とその家族向けに外国人講師を招いて、ゲーム感覚での英会話と外国の文化を楽しんでいただくことで、興味の幅を広げるとともに日本の社会とは違った雰囲気でのコミュニケーションを体験していただく。また、外国人の活躍の場とともに、別事業「英語を楽しもう」からのボランティア育成の場ともする。 ・英会話 ・外国文化の体験	隔月・年6回
英語を楽しもう！～2020年は東京オリンピック～	2020年の東京オリンピックを目指して外国人支援を目指すとともに、利用の少ない夜間の時間で開催することでの場所の有効活用と、社会人の参加を狙うことで、ケアプラザを知っていただくとともに将来の地域の担い手としての育成にもつながりたい。 ・英会話 ・外国文化の体験	毎月・年延51回
あんしんして暮らすための10分間講座	地域活動交流が主催する教室等に、不定期に包括の職員が教室開始10分の間に、消費者被害や空き巣、交通安全等の情報提供を行うなどし、暮らしの安全に役立てていただく。 ・消費者被害等に合わないために	毎月・年20回
ママと赤ちゃんのためのたいそう&ストレッチ全5回	乳児を持つ母親の健康づくりと”楽しむ子育て”を知っていただく場とし、心身のリラックステとも閉じこもりがちなこの時期を同じ乳児を持つ親同士が交流することで、悩みや楽しみを共有する場とする。 ・母親向け体操 ・親子のふれあい遊び ・親子でのリラクゼーション	半年・年延べ10回
放課後活動「かまりやクラブ」	個別支援級に通う小中学生を対象に、ボランティア活動と子ども同士の交流、多世代ボランティアとの交流の場を提供することで、社会に出る準備の場とする。また、障がい児向けボランティア育成の場ともする。 ・障がい児のボランティア活動 ・フリースペース	毎月・年11回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ブラレール広場	集団で協力しながらひとつのものを作る喜びを知っていただくとともに、保護者同士および多世代交流の場とする。男性ボランティアの活動の場ともしたい。 ・ブラレール遊び	隔月・年5回
一緒に歌を歌いましょう!	歌を歌うことを通しての健康維持と参加者同士の交流、職員に気軽に相談できる環境や情報収集の場の提供を行う。 ・歌の教室。 ・ストレッチ	毎月・年12回
ゴスペル教室	声を出すことによる心身の健康づくりと、障がい者・健常者・あらゆる世代の方がゴスペルを通してひとつになる場とする。また英語の歌詞により異言語による脳の活性化にも役立てる。 ・ゴスペル ・ストレッチ体操	毎月・年12回
ちょっとおじゃまします	地域包括支援センターと地域活動交流の職員が町内会のサロン等に気軽に立ち寄り、5分間程度地域住民目線で、消費者被害や空き巣、交通安全の情報提供や消費者被害、詐欺、空き巣、交通事故等に遭わないための話しや交流を図ってくる。 ・最近の詐欺情報と交通事故 ・空き巣 ・最新おれおれ詐欺 ・介護保険申請からサービス等	不定期・年7回
釜利谷親子ほっとサロン	同世代の子を持つ親同士の交流の場と、関係機関が協働しサロンを開催することで広い視野での情報提供と相談の場の提供を行う。また、地域のニーズを拾う場とする。 ・親子サロン ・ミニイベント	毎月・年11回
おはなし会	子ども達が発達していく過程で心の豊かさを育むとともに、家庭内においての読み聞かせや遊び等の参考にさせていただきたい。 ・絵本の読み聞かせ ・わらべ唄 ・パネルシアター ・手遊び	隔月・年5回
もんきっきクラブ全4回	”赤ちゃん”の時期が終わり個人差が出てくる時期に、成長の違いを感じながらも自分のペースを守りながらの参加、他者の影響を受ける参加と個々に合わせた参加の場とし、次の段階へ繋げる場ともしたい。 ・親子体操 ・リトミック ・母親向け体操 ・読み聞かせ	春期・年延4回
はぐくみ会	子育て支援者・相談者同士の事例検討や、講師を招き勉強会を開き地域住民からのさまざまな相談に対応できるようにするとともに、ここで得た情報や知識をそれぞれが関わる親子の支援にもつなげていく。 ・子育てについての勉強会	毎月・年9回
はりねずみのお針箱	中高年の方同士の交流や地域資源の発掘をする場として機能させるとともに、将来的にはミニデイ的な機能をもたせた場ともしたい。またスープを提供することで、孤食がちな日常から皆で食事をする楽しさも味わっていただく。 ・手芸サロン ・おしゃべり会 ・ミニ会食 ・相談援助	隔月・年7回
親子体操遊び「ぴよんたクラブ」	1歳から6歳までの、子どもとしては幅広い年齢層対象での親子体操を開催することで、子ども間での異世代交流の場を提供するとともに、保護者間での先輩ママとの交流を通じて悩みや楽しさを共有できる場とする。 ・親子ふれあい体操 ・母親向け体操	四半期・年4回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きぐちゃんのからだ遊び・こころ遊び「麦わら帽子クラブ」全5回	子どもの自主性、自発性を尊重し、子ども自身が動くことを学び、動きをとおして、からだ・あたま・こころの調和のとれた発達を援助する。障がい児は優先的に受け入れる。 ・ムーブメント ・絵本のよみ遊び	半期・年10回
すみなすフェスタ	地域に向けての施設の周知と、地域と施設の交流や地域の方の活動の場の提供を行う。 ・フェスタ ・体力・健康測定 等	6月・年1回
地域支えあい連絡会	日常生活圏において「誰もが地域で安心した生活を送る」ために、地域の困りごと、援助してもらいたいことを地域の中で拾い上げ、地域の中で支えていくことを目的とする。 ・会合	四半期・年4回
簡単ストレッチ講座	高齢者の健康づくりと交流の場の提供を目的とする。 ・椅子に座ったストレッチ	春期・年1回
1歳児向け親子たいそう遊び全5回	”赤ちゃん”の時期が終わり、発育・発達の個人差が出てくる時期に、同年齢の中で比較することなくわが子の成長を見守れる場とする。 ・母親向け健康体操 ・親子ふれあい体操	半期・年延10回
かのん保育園との交流	異世代交流と福祉教育を目的とする。 ・園児とデイ利用者との交流 ・手作りカレンダーの受け取り	毎月・年10回
カモミール	釜利谷エリアを中心とした障がい児を持つ保護者の支援。 ・情報交換等	毎月・年11回
ヨガ教室	英語圏の外国人講師を招き事業を展開することで、日本語を母国語としない外国人への居場所と国際交流の場を提供するとともに、健康づくりにも役立てていただく。また今後、外国人の方にも地域資源として活動していただくきっかけとなる場とする。 ・ヨガ教室	隔週・年22回
車椅子の貸し出し	介護支援を目的とする。 ・車椅子の貸し出し(2週間以内) ・車椅子の貸し出し	随時・年36回
月曜日には体操	日頃の生活の中でも続けられる動きを中心に指導いただき、介護予防、身体機能維持、腰痛・膝痛予防に役立てていただくとともに、参加者同士の交流、職員に気軽に相談ができる環境や情報収集の場の提供を行う。 ・体操教室	毎月・年12回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜市立大学ボランティア養成講座	区内2大学に向けてボランティア養成講座を開催することで、ボランティア活動を通して、社会貢献、地域とのつながり等学んでいただくとともに、奉仕することが自らの成長や喜びにつながることを知っていただく。 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動について ・活動者の話し ・活動先の紹介 ・体験実習 ・報告会（振り返り） 	春期・年延4回
釜利谷親子すくすく広場	地域の複数の関係機関の共催により開催することで、子育て中の保護者の方にさまざまな子育て支援があることを知っていただくとともに、子育てサークル入会のきっかけともし、子育て中の支援及び社会からの孤立を防止する。 <ul style="list-style-type: none"> ・保育士の先生と全体遊び ・育児サークル紹介 	9月・1回
釜利谷南小学校3年生社会科「この町大好き」	ケアプラザの機能について学習することにより、ケアプラザの理解福祉を知りきっかけとしたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラザについての学習 ・デイサービスの見学 ・福祉用具体験 	夏期・1回
サマーフレンド	学齢期障がい児の余暇支援を行うとともに、障がい児をサポートするボランティアの育成および福祉体験学習の場としても機能させる。また、区社協、区内9ケアプラザの協働で事業を展開することで、金沢区の障がい児支援事業の更なる向上をめざす。 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで楽しもう ・からだところ遊び ・ミニパフェ作り ・自由遊び 	夏休み・1回
ラジオ体操講習会	ラジオ体操を通じて、地域の方の健康づくりと交流の場の提供を目的とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・「ラジオ体操」講習会 	夏期・年1回
くらしの教室	くらしに役立つ情報を発信する。振り込め詐欺、空き巣、悪質商法の手口と対策等を発信することで、被害を未然に防ぎ、ケアプラザが身近な相談窓口であることを広めたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・悪徳商法の手口等 	夏期・年1回
パークタウン自治会出張講座	終活のきっかけ作りと成年後見制度の普及啓発を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・終活について ・成年後見制度について ・介護保険について等 	夏期・年1回
認知症サポーター養成講座 高舟台自治会	高舟台自治会住民を対象に、認知症について正しく理解し、認知症の人と家族を温かく見守り、支援する応援者を養成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座 	夏期・年1回
終活セミナー＆個別相談会	相続、遺言、成年後見制度を学び、老後のことを考えるきっかけ作り。 <ul style="list-style-type: none"> ・相続、遺言、成年後見制度 ・個別相談会 	夏期・年1回
宿仲会 出張講座	町内会でのロコモ予防、認知症予防の支援。 <ul style="list-style-type: none"> ・スクエアステップ 	夏期・年1回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
御仲井赤坂町内会健康講座	町内会住民に対して、介護予防の普及啓発。 ・栄養について ・口腔ケアについて 等	夏期・年2回
坂本町内会健康講座	町内会住民に対して、介護予防の普及啓発。 ・栄養について ・口腔ケアについて 等	夏期・年2回
コグニサイズ講座	ロコモ予防、認知症予防のリーダー養成。 ・コグニサイズの講習会 ・ロコモ予防 ・ストレッチ	夏期～秋期・年7回
横浜市釜利谷保育園との交流	異世代交流と福祉教育を目的とする。 ・園児とデイ利用者との交流 ・園児による歌の披露	秋期・2回
職業体験 釜利谷中学校 個別支援級	将来、社会に出るにあたっての準備の場としていただく。 ・デイサービス体験	秋期・1回
健康づくりのためのあ るき方講習会	高齢者の健康づくりと交流の場の提供を目的とする。 ・歩き方講習 ・ストレッチ ・ウォーキング（地域を歩く）	秋期・1回
医療講演会	講演会を通じて病気の早期発見や予防に役立てていただく。 医療講演会	秋期・1回
移動サロン 釜利谷おいで家”よっ てらっしゃい”	西金沢地域ケアプラザと釜利谷地域ケアプラザの4コーディネーター（生活支援、地域活動交流）で、一人でも気軽に立ち寄れる移動式のサロンを開催することで、地域と関わりを持っていない方、新たな出会いを求めている方の居場所を提供するとともに、地域の紹介やケアプラザ事業の紹介をすることで、活動範囲を広げるきっかけとした。 ・おしゃべりサロン	隔月・年3回
バランス良く食べる	健康寿命を延ばすひとつの方法として、日常の食事を見直していただく。 ・会食 ・栄養講座	秋期・年1回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
森の小道やまなみ	サロンを開催することにより、食・居場所・世代を越えた交流の場の提供を行うとともに、ボランティア育成やケアプラザを身近な相談の場として知っていただく機会としたい。また、学生の職業体験・福祉体験・社会体験の場としても機能させたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・会食 ・ミニ講座 ・フリースペース ・相談 ・職業体験の受け入れ 秋期から冬期・年2回
子育てサポートシステム説明会	地域の中で子どもを預けたい人と預かる人をつなぐことで人と人のつながりを広げ、地域全体で子育てを応援する仕組みを築く。	<ul style="list-style-type: none"> ・「子育てサポートシステム」説明会 秋期・年1回
宮ヶ谷健康講座	町内会住民に対して、介護予防の普及啓発を目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケア ・介護予防講座等 秋期・年1回
男性介護者のためのティータイム	男性で、同じ介護の悩みを抱えている同士で経験を共有し、情報交換や交流の場とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換 ・交流 秋期・年1回
行政書士による無料個別相談会	成年後見制度の普及啓発、遺言等の相談の場とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度や遺言等の相談 秋期～冬期・年2回
親子3B体操教室	2～3歳児親子を対象に健康づくりの場を提供するとともに、あいさつや順番といったことも意識して教室に取り入れ、社会に出る第一歩としての機能も持たせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・親子体操(3B体操) ・母親向け体操 秋期～冬期・年8回
手話ダンスとミニコンサートを楽しむ会	高齢者の健康づくりと交流の場の提供を目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・手話ダンス ・バイオリンミニコンサート 冬期・年1回
地域でできること・私たちにできること	講演会を通して地域でできることや自分自身にできることを考えるきっかけとしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会とグループワーク 冬期・年1回
親子音楽会	小さなお子さんと保護者を対象に、身近で本格的な音楽に触れる機会と、気兼ねなく音楽を楽しんでいただく場の提供を行う。また地域とのつながりをつくる場としたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオリンコンサート 冬期・年1回
職業体験 富岡中学校	将来の進路決定にあたって、広い視野で真剣に臨む心と、福祉を通しての社会を知るきっかけとしていただく。	<ul style="list-style-type: none"> ・デイサービスでの体験 ・「森の小道やまなみ」体験 冬期・年延2回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	ケアプラザ職員と事業者を対象に、認知症について正しく理解し、認知症の人と家族を温かく見守り、支援する応援者を養成する。 ・認知症サポーター養成講座	冬期・年1回
宮ヶ谷出張講座	地域に出向いて認知症予防・啓発と交流の場の提供を行う。 ・コグニサイズ講座	冬期・年1回
高舟台ふれあい風食会	地域に出向いて、口腔ケアの啓発とケアプラザ事業の周知を行う。 ・口腔ケア ・ケアプラザ事業の周知	冬期・年1回
宮ヶ谷おしゃべりサロン	地域に出向いて、認知症の予防・啓発とケアプラザ事業の周知を行う。 ・コグニサイズ ・交流	冬期・年1回
赤井サロン	地域に出向いて、認知症の予防・啓発とケアプラザ事業の周知を行う。 ・スリーA ・交流	冬期・年1回
福祉体験 並木中学校	福祉教育を通じて福祉を知るとともに、地域や異世代の人との関わりについて考えるきっかけとしていただきたい。 ・デイサービスでの体験	冬期・年延2回
地域実習 横浜市大看護科	地域看護活動の対象としての個人・家族・集団および地域・コミュニティーの特性や健康課題の理解。 地域ケアプラザの事業や担当職種を理解し、地域包括ケアシステムの構築に果たす役割を考察する。 ・地域包括支援センター、地域活動交流、デイサービスでの体験実習	冬期・年延4回
かまりやボランティアポイント「ひこうき」	ボランティア活動を通して身近な社会のしくみの体験とライフスキル支援を目的とする。 ・職業体験	随時
みまーも	釜利谷地域ケアプラザエリア全体での見守りの活動の更なる活性化と支援者の輪を広げる。 ・講演会 ・情報交換・話し合い ・交流会	四半期・年4回
サロン交流会	釜利谷地域ケアプラザ内で運営されているサロン支援者同士の情報交換と交流の場を提供する。 ・情報交換 ・交流会	四半期・年4回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
キャラバンメイト交流会	釜利谷地域ケアプラザ内でのキャラバンメイト有資格者の活動支援と交流を目的とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・情報交換 ・交流会 	半期・年2回
しあわせのおすそわけ	これから子育てが始まる母親を対象に子育ての不安解消と子育ての楽しさを伝えることを目的とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい遊び ・語り合い 	半期・年2回
親子でたいそう	家でもできる親子体操を習得していただき、親子のふれあい遊びのヒントを伝えるとともに、地域の方同士の交流の場の提供を目的とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・親子体操 ・親子ふれあい遊び 	秋期・年1回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
介護者のつどい	介護者	40000	40000	0	15000	15000	10000
	80名						
	0円						
ほっとタイム	高齢者	10000	10000	0	0	5000	5000
	100名						
	0円						
高舟台出張講座	高舟台自治会	0	0	0	0	0	0
	30名						
	0円						
パーキンソン病交流会「やまゆり会」	当事者と家族	10000	10000	0	3000	7000	0
	25名						
	0円						
Active English	障がい児者と家族	50000	35000	15000	40000	10000	0
	80名						
	350円						
英語を楽しもう！～2020年は東京オリンピック～	地域	450000	50000	400000	440000	10000	0
	500名						
	700円(ピンター800円)						
あんしんして暮らすための10分間講座	地域	0	0	0	0	0	0
	500名						
	0円						
ママと赤ちゃんのためのたいそう&ストレッチ全5回	0歳児親子	70000	45000	25000	70000	0	0
	150名						
	1,600円						
放課後活動「かまりやクラブ」	学齢障がい児	15000	10000	5000	0	0	15000
	100名						
	200円						
プラレール広場	地域	0	0	0	0	0	0
	120名						
	0円						
一緒に歌を歌いましょう！	地域	94000	30000	64000	94000	0	0
	160名						
	400円						
ゴスペル教室	地域	270000	30000	240000	270000	0	0
	300名						
	1000円(障がい児者150)						
ちよっとおじゃまします	地域	0	0	0	0	0	0
	250名						
	0円						
釜利谷親子ほっとサロン	未就園児親子	0	0	0	0	0	0
	500名						
	0円						

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
おはなし会	未就園児親子	20000	20000	0	20000	0	0
	80名						
	0円						
もんきっきクラブ全4回	2～3歳児親子	60000	15000	45000	55000	0	5000
	110名						
	1,300円						
はぐくみ会	子育て支援者	0	0	0	0	0	0
	50名						
	0円						
はりねずみのお針箱	中高年	20000	20000	0	0	15000	5000
	80名						
	0円						
親子体操遊び「ぴよんたクラブ」	1～6歳児親子	30000	12000	18000	30000	0	0
	120名						
	300円						
きぐちゃんのからだ遊び・こころ遊び「麦わら帽子クラブ」全5回	2～3歳児親子	80000	60000	20000	80000	0	0
	205名						
	1,600円						
すみなすフェスタ	地域	0	0	0	0	0	0
	800名						
	0円						
地域支えあい連絡会	地域支援者等	25000	25000	0	0	0	25000
	90名						
	0円						
簡単ストレッチ講座	高齢者	0	0	0	0	0	0
	45名						
	0円						
1歳児向け親子体操遊び全5回	1歳児親子	70000	25000	45000	70000	0	0
	200名						
	1,600円						
かのん保育園との交流	保育園児	0	0	0	0	0	0
	256名						
	0円						
カモミール	障がい児を持つ親	0	0	0	0	0	0
	93名						
	0円						
ヨガ教室	地域	200000	20000	180000	200000	0	0
	500名						
	400円						
車椅子の貸し出し	地域	0	0	0	0	0	0
	50名						
	0円						

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
月曜日には体操を	中高年	60000	8000	52000	60000	0	0
	200名						
	300円						
横浜市立大学ボランティア養成講座	大学生	0	0	0	0	0	0
	150名						
	0円						
釜利谷親子すくすく広場	未就園児親子	0	0	0	0	0	0
	200名						
	0円						
釜利谷南小学校3年生 社会科「この町大好き」	小学生	0	0	0	0	0	0
	60名						
	0円						
サマーフレンド	障がい児	40000	20000	20000	15000	5000	20000
	30名						
	1,000円						
ラジオ体操講習会	地域	0	0	0	0	0	0
	80名						
	0円						
くらしの教室	地域	0	0	0	0	0	0
	30名						
	0円						
パークタウン自治会出張講座	パークタウン自治会	0	0	0	0	0	0
	35名						
	0円						
認知症サポーター養成講座 高舟台自治会	高舟台自治会	0	0	0	0	0	0
	30名						
	0円						
終活セミナー&個別相談会	高齢者	0	0	0	0	0	0
	10名						
	0円						
宿仲会 出張講座	宿町内会	0	0	0	0	0	0
	25名						
	0円						
御仲井赤坂町内会健康講座	御仲井赤坂町内会	0	0	0	0	0	0
	35名						
	0円						
坂本町内会健康講座	坂本町内会	10000	10000	0	10000	0	0
	42名						
	0円						
コグニサイズ講座	高齢者	0	0	0	0	0	0
	150名						
	0円						

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
横浜市釜利谷保育園との交流	保育園児	0	0	0	0	0	0
	50名						
	0円						
職業体験 釜利谷中学校個別支援級	中学生	0	0	0	0	0	0
	5名						
	0円						
健康づくりのためのあるき方講習会	高齢者	0	0	0	0	0	0
	50名						
	0円						
医療講習会	地域	0	0	0	0	0	0
	15名						
	0円						
移動サロン 釜利谷おいで家”よってらっしゃい”	高齢者	10000	7000	3000	0	10000	0
	100名						
	100円						
バランス良く食べる	地域	0	0	0	0	0	0
	35名						
	0円						
森の小道やまなみ	地域	35000	15000	20000	0	30000	5000
	100名						
	300円(食事)50円(コーヒー) 100円(ティー&クッキー)						
子育てサポートシステム説明会	養育者等	0	0	0	0	0	0
	10名						
	0円						
宮ヶ谷健康講座	宮ヶ谷町内会	0	0	0	0	0	0
	30名						
	0円						
男性介護者のためのティータイム	男性介護者	2623	2623	0	0	2623	0
	10名						
	0円						
行政書士による無料個別相談会	地域	0	0	0	0	0	0
	10名						
	0円						
親子3B体操教室	2～3歳児親子	60000	40000	20000	60000	0	0
	120名						
	300円						
手話ダンスとミニコンサートを楽しむ会	高齢者	0	0	0	0	0	0
	57名						
	0円						
地域でできること・私たちにできること	地域	0	0	0	0	0	0
	60名						
	0円						

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
親子音楽会	未就園児親子	0	0	0	0	0	0
	80名						
	0円						
職業体験 富岡中学校	中学生	0	0	0	0	0	0
	10名						
	0円						
認知症サポーター養成講座	事業者等	0	0	0	0	0	0
	30名						
	0円						
宮ヶ谷出張講座	宮ヶ谷町内会	10000	10000	0	10000	0	0
	15名						
	0円						
高舟台ふれあい昼食会	高舟台自治会	0	0	0	0	0	0
	50名						
	0円						
宮ヶ谷おしゃべりサロン	宮ヶ谷町内会	0	0	0	0	0	0
	20名						
	0円						
赤井サロン	赤井町内会	0	0	0	0	0	0
	15名						
	0円						
福祉体験 並木中学校	中学生	0	0	0	0	0	0
	6名						
	0円						
地域実習 横浜市大看護科	大学生	0	0	0	0	0	0
	12名						
	0円						
かまりやボランティアポイント「ひこうき」	障がい児者	0	0	0	0	0	0
	15名						
	0円						
みまーも	地域の方	0	0	0	0	0	0
	100名						
	0円						
サロン交流会	地域支援者	0	0	0	0	0	0
	50名						
	0円						
キャラバンメイト交流会	キャラバンメイト	0	0	0	0	0	0
	30名						
	0円						
しあわせのおすそわけ	0~3ヶ月親子	13000	10000	3000	12000	0	1000
	20名						
	200円						

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
親子でたいそう	未就園児親子	0	0	0	0	0	0
	20組						
	0円						

事業ごとに別紙に記載してください。